

性別によらず誰でも利用できる多目的トイレのサイン（清掃施設課）

これまで男女別にサインを掲示し、性別ごとに利用者が制限されていた多目的トイレの一部について、異性介助等に配慮し、性別によらず誰でも使用できるようにサインを変更しました。

場所：JR横浜線淵野辺駅北口公衆トイレ

ユニバーサルデザインの視点

- すべての人にやさしい情報・サービスを提供する
 - 受け手に配慮した案内、サイン
- すべてのひとにやさしいまちづくりを進める
 - 心のバリアフリーの推進



～さらにやさしく～
公共施設のトイレに、男女を問わず、おむつ台やベビーチェア等があれば、イクメンも安心してお出掛けができるかも！「子育て世代にもやさしいまちづくり」を目指しましょう。



動画による住宅用火災警報器の点検・交換の促進（予防課）

予防課では、住宅用火災警報器（略して「住警器」といいます。）の設置義務化から10年が経過していることから、住警器の点検・交換を促進するため、インターネットを通じた動画配信を予定しています。（令和4年4月15日より配信予定）

また、動画内に手話通訳映像を取り入れ、聴覚に障害のある方にもご覧いただきやすい動画を作成しています。

ユニバーサルデザインの視点

- すべてのひとにやさしい情報・サービスを提供する
 - 受け手に配慮した伝達手段



令和4年4月15日より、相模原チャンネル（YouTube）での動画の配信を予定しています。
広報さがみはら、市HP、区役所等デジタルサイネージ、図書館貸出カード裏面記載等でも紹介を予定しています。

ユニバーサルデザインをテーマとしたワークショップの開催（地域包括ケア推進課）

令和3年9月に、市役所のインターンシップの参加者を対象としたワークショップ(オンライン)を開催しました。

ワークショップでは、ユニバーサルデザインについて市の取組み等を紹介するほか、市役所を例に「あったら便利だと思うバリアフリー設備、取組み」や、より多くの方がユニバーサルデザインを身近に感じられる「ユニバーサルデザインの情報発信」をテーマとしたワークを行いました。

参加者の皆さんからのアイディアの一例

テーマ1：市役所のバリアフリーを考える

あなたが「あったら便利だと思うバリアフリー設備、取組み」は？

- ・視力が低下した方、色覚異常のある方なども見やすい色のコントラストがついた階段
- ・閉鎖空間をなくすため、エレベーターにガラス窓をつける
- ・車いす利用者向けの記入台
- ・フロアごとの音声案内

テーマ2：ユニバーサルデザインの情報発信を考える

より多くの方がユニバーサルデザインを身近に感じられる情報発信とは？

- ・鉄道やバスの施設でユニバーサルデザイン化されている施設の紹介
- ・学校でユニバーサルデザインの授業を行い、その後は生徒たちが学校の校舎全体を使ってユニバーサルデザインである（でない）箇所を見つけるカリキュラム

ユニバーサルデザインの視点

- すべてのひとにユニバーサルデザインの考え方を広める
 - ユニバーサルデザインを知る機会の充実

！ ユニバーサルデザインの視点

相模原市ユニバーサルデザイン基本指針における基本方針・取組の方向等から引用しています。

相模原市ユニバーサルデザイン基本指針や、これまで発行されたユニバーサルデザイン通信は、市ホームページからご覧いただけます。

< ユニバーサルデザインに関する市ホームページ >

<https://www.city.sagamihara.kanagawa.jp/kurashi/fukushi/1017128/index.html>